

「公務部門向け障害者職業生活相談員資格認定講習」のご案内

～国や地方公共団体で、5人以上の障害者が勤務する事業所では、
障害者職業生活相談員を選任することが義務づけられました～

国および地方公共団体の任命権者は、**5人以上の障害者**が勤務する事業所において、「障害者の雇用の促進等に関する法律」により、厚生労働省が定める選任されるための要件※¹を満たす職員から、障害者職業生活相談員を選任することが義務づけられました。選任された障害者職業生活相談員は、その事業所に勤務する障害者の職業生活全般の相談や指導を行います。 ※¹ 選任要件の詳細は裏面をご覧ください。

長崎労働局では、「公務部門向け障害者職業生活相談員資格認定講習」を実施します

- ◆ 障害者職業生活相談員になるためには、「障害者職業生活相談員資格認定講習」を修了するか、障害者の職業生活に関する相談の実務経験があるなどの要件（詳細は裏面参照）を満たすことが必要です。

(注) 国および地方公共団体に勤務する職員は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が実施する民間企業向けの「障害者職業生活相談員資格認定講習」を受講することができません。

受講対象者	5人以上の障害者が勤務し、相談員を選任する必要がある事業所の職員であって相談員がいない又は相談員の異動等のために、新たに相談員に選任される予定がある者で、資格認定講習により資格を得る必要がある者
受講費用	無 料
受講手続き	別紙受講申込書により 令和3年7月12日(月)まで(必着) にFAXまたは郵送にてお申し込み下さい

日時：令和3年8月5日(木) 13:00～16:40 (12:40受付開始)
8月6日(金) 9:00～15:15 (8:40受付開始)

場所：長崎労働局 TBM長崎ビル地下会議室
(長崎市万才町7-1 TEL095-801-0042)

定員：20名 ※先着順ではありません。下記(注)参照

- ※ 参加される方はマスク着用と、入場時の消毒等感染対策にご協力をお願いいたします。
- ※ 発熱(体温37.5℃以上)の症状など体調がすぐれない場合には、ご連絡をいただいたうえで参加をお控えください。
- ※ 会場内での食事はご遠慮ください。
- ※ 会場に駐車場はございませんので、近隣駐車場をご利用ください。

(注) 申込み多数の場合は受講対象とならない場合があることにご留意ください。

受講の可否に関しては優先度を勘案して、事前に[受講申込選考結果通知書](#)を郵送いたします。

「障害者職業生活相談員」の選任要件

◆ 障害者職業生活相談員に選任されるための要件を満たす者は、次のいずれかに該当する者です。

1	障害者職業生活相談員資格認定講習の修了者
2	職業能力開発総合大学校の指導員訓練を修了した者又はこれに準ずる者として厚生労働大臣が定める者※ ⁵
3	大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は職業能力開発総合大学校の指導員訓練（長期養成課程の指導員養成訓練に限る。）、特定専門課程若しくは特定応用課程の高度職業訓練、職業能力開発大学校若しくは職業能力開発短期大学校の専門課程の高度職業訓練若しくは職業能力開発大学校の応用課程の高度職業訓練を修了した者若しくはこれらに準ずる者として厚生労働大臣が定める者※ ⁶ で、その後1年以上、障害者である職員又は労働者の職業生活に関する相談及び指導についての実務に従事した経験を有するもの
4	高等学校又は中等教育学校を卒業した者で、その後2年以上、障害者である職員又は労働者の職業生活に関する相談及び指導についての実務に従事した経験を有するもの
5	2～4に掲げる者以外の者で、3年以上、障害者である職員又は労働者の職業生活に関する相談及び指導についての実務に従事した経験を有するもの
6	2～5に掲げる者に準ずる者※ ⁷

※⁵ 職業能力開発促進法による職業訓練大学校の長期課程の指導員訓練（福祉工学科に関するものに限る）を修了した者など

※⁶ 職業訓練法の一部を改正する法律（昭和60年法律第56号）による改正前の職業訓練法による職業訓練大学校の長期指導員訓練課程の指導員訓練を修了した者など

※⁷ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が実施する職場適応援助者養成研修、大臣指定の研修機関が実施する職場適応援助者養成研修、国の機関の職員に対する職場適応支援者養成研修（厚生労働省委託事業）を修了した者

「障害者職業生活相談員資格認定講習」の内容

◆ 資格認定講習は、6.5時間以上（基礎編・実務編）で行われ、講習テーマは主として次のような事項です。

基礎編	障害者雇用の現状と課題、障害者職業生活相談員の役割と活動内容 など
実務編	採用と配置、人間関係管理と生活指導、職場適応の向上、障害別にみた雇用の実際 など
応用編(任意参加)	障害者雇用事業所見学、支援機関見学

障害者職業生活相談員のしくみ



(様式第2号)

国及び地方公共団体向け障害者職業生活相談員資格認定講習カリキュラム

年度・回:令和3年度(1回)

労働局名:長崎労働局

【1日目:令和3年8月5日(木)】

タイムスケジュール	講習時間	講習内容			講師
		分類	テーマ	科目名	
13:00~13:10	(10分)			1 オリエンテーション	長崎労働局 職業対策課
13:10~14:10	(60分)	基礎	1、2	2 障害者雇用の現状と課題について 障害者雇用施策について	長崎労働局 職業対策課 地方障害者雇用担当官
14:10~14:15	(5分)			休憩	
14:15~14:55	(40分)	基礎	4	3 障害者職業生活相談員の役割と活動内容	長崎労働局 職業対策課 地方障害者雇用担当官
14:55~15:00	(5分)			休憩	
15:00~16:40	(100分)	実務	9、10	4 障害種別にみた雇用実態及び職場適応と定着	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構長崎支部 長崎障害者職業センター

【2日目:令和3年8月6日(金)】

タイムスケジュール	講習時間	講習内容			講師
		分類	テーマ	科目名	
9:00~10:10	(70分)	基礎	3	5 障害者に対する関係行政	・長崎県福祉保健部 障害福祉課 ・長崎県教育庁特別支援教育課
10:10~10:15	(5分)			休憩	
10:15~11:15	(60分)	実務	3	6 障害者の採用及び配置	長崎公共職業安定所 職業相談第3部門 主任就職促進指導官
11:15~11:20	(5分)			休憩	
11:20~12:20	(60分)	実務	6、7	7 労務・人間関係管理と生活指導	長崎公共職業安定所 職場適応支援者
12:20~12:30	(10分)			8 アンケート記入・休憩	
12:30~12:35	(5分)			【閉講】 修了証書交付	
12:35~13:45	(70分)			昼休憩	
13:45~15:15	(90分) 程度	応用	見学	9 施設説明・見学・質疑応答(※1)	

基礎・実務:計 **(390分)** (※2)

※1:応用(見学)の参加は任意です。認定講習修了証書の受け取りは基礎・実務のみの受講で可能です。

※2:オリエンテーション、休憩時間及び参加を任意とする障害者雇用事業所又は障害者就労支援機関等の見学のための時間は含めません。